



日本共産党市議員 かたやなぎ 進

片柳すすむ 市政報告

発行
日本共産党
川崎市議会議員団
川崎市宮本町1番地
第2市庁舎7階
TEL 200-3360
FAX 245-4140
その他の連絡先
TEL 246-6823

日本共産党
川崎
市議会議員団

— 6月5日に予定されていたヘイトデモは、市民の抗議で中止に —

「ヘイトスピーチ許さない」条例等の整備を提案しました

今月号の内容

- 1 面
- ①ヘイトスピーチ許さぬ法整備を
 - ②改定介護保険を考える
 - ③本町・木の伐採で見通し良く
- 2 面
- ①市民の声/消費税増税やめて
 - ②フルームマンションの規制を
 - ③市議団学習会「安保法制の下、地方自治体は？」
 - ④コラム/初心を忘れない



武蔵小杉駅前でも多く市民に訴える宣伝行動

表問 代質 ヘイトスピーチに 厳正な対応を

2016年6月9日、川崎市6月議会本会議で、日本共産党市議会議員団は認可保育所の整備、正規雇用の拡大、ヘイトスピーチへの対応、さらには羽田連絡道路や川崎港コンテナターミナルなど不要不急の大規模事業について代表質問を行いました。その内容を紹介します。

2013年から民族差別デモを繰り返して主催している男性が『川崎発！日本浄化デモ！』などと称する集会・デモを6月5日に開催することを予告していました。日本共産党川崎市議員団は、5月

25日に市長に対して公園の使用許可をしないよう申し入れました。翌26日には、『ヘイトスピーチを許さない川崎市民ネットワーク』の方々とともに日本共産党の畑野衆院議員、君嶋県議、片柳・佐野市議のほか、民進党・社民党の国会議員と秘書・地方議員らが川崎警察署にヘイトスピーチに厳正な対応をするよう要請しました。

30日には、市議60人全員が賛同した公園の使用を認めないよう求める要請書を市長に提出。これらを受けて福田市長は、不当な差別的言動から市民の安全と尊厳を守るという観点から、ヘイトデモを繰り返す男性の公園利用を「不許可」としました。

日本共産党は代表質問で「市長の決断を、ヘイトスピーチ解消法の趣旨にかなうものとして歓迎する」と述べ、新法の趣旨をふまえて、公共施設の使用許可・不許可の条件を規定した条例等を整備するべき、と市長に質問しました。

市長が「現行の枠組みで最大限対応し、新たな方策も検討したい」と答弁したのに対し、日本共産党は公共施設の利用許可などを判断する第三者機関の設置等を盛り込んだ条例の制定を求めました。

日本共産党市議会議員団主催 改定介護保険制度で始 まった川崎市総合事業 を考える

5月18日、日本共産党市議会議員団が主催し、「改定介護保険制度で始まった川崎市総合事業を考える学習・意見交換会」を開きました。介護の現場で働くみなさんや、介護利用者の方々など幅広いみなさんが参加、意見を交流しました。講師の大阪社保協・介護保険対策委員長の日下部雅喜さんは、毎年50〜70件の「介護心中」、毎年14万人・通算160万人ほどの「介護退職」、52万人にのぼる特養ホームの待機者、人材不足のため介護労働者の高齢化など、介護の危機こそ解決しなければならぬと告発しました。

今年の4月からは①特養ホームの入所は要介護度3以上に限定、②年収280万円以上の方はサービス利用の自己負担が2割に、③要支援の方が受けていた「訪問介護」「通所介護」は自治体の事業としてボランティアによるサービスでも良いこととする、などの改善が行われました。川崎市は「現行相当サービス」に加え、報酬が現行相当サービスの7割の「基準緩和サービス」、全額利用者負担の「スーパー基準緩和サービス」の三類型を実施します。

この川崎市総合事業は事業者の実態を考慮しないものであることなどの問題点を指摘し、現行相当サービスの縮小・切り下げをさせない運動が必要だと訴えました。学習会で出された事業者や利用者の皆さんの声は市議会でも取り上げてまいります。

市民 要望実現 本町1丁目 道路角の木の枝伐採

「道路角の木の枝が繁ってしま、道路の通行できるスペース



伐採前



伐採後

が狭くなり、見通しも悪い」と苦情が寄せられました。早速、道路公園センターに伝え、改善をお願いしました。すぐに伐採され、見通しも良くなりました。



観音2丁目在住
浜田慶三さん
(とりけい店主)

消費税増税やめてほしい

600億円の税金を使ったG7の「ショー」が終わりました。私たちの生活は変わったでしょうか？サミットの直後の「消費税の増税延期」、安倍首相のシナリオを、各国の首脳は見切っていました。パナマ文書でアメリカを超えて世界一の82兆円も税逃れしているのが日本だとわかりました。「犯罪

ではない」といわれ
ていますが、とんで
もない税逃れの大量
です。重加算税をか
ければ、そもそも日
本では消費税は取ら
なくてもやっていける国なのです。



町場では、社会保障も払えず、
仕事につけない人も多くいます。
3年間休まず働いて保険の滞納分
を払っているという派遣の人もい
ました。こうした実態を安倍首相
は知っているのでしょうか？

消費税が増税されれば、川崎市
民のくらしや営業に直結します。
片柳さんには市民の暮らしの実態
を市議会に届けてほしいです。

文教委員会から

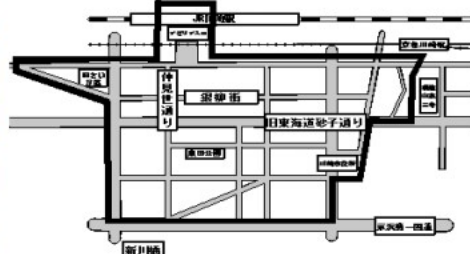
「防犯カメラ設置補助」の検討

「防犯カメラ設置補助」につい
ての検討がされています。
町内会や自治会・マンション管
理組合などが防犯カメラを新設す
る際に、県に加え市も補助を行
う方向です。私は質問で、防犯カ
メラの映像が不当に濫用されない
ように管理運用ガイドラインを周
知することなどを求めました。

「客引き行為防止条例」 「罰則」が9月から開始に

9月1日から「客引き行為防止

条例」の
罰則規定
が施行さ
れます。
文教委
員会で私
は、深夜
や早朝な
どの客引きの実態や、罰則が適用
される区域外（罰則が適用される
地域は右の図を参照）での客引き
の実態把握について、今後のパト
ロールの予定や体制について質問
し対応を求めました。



内が適用される地域

ワンルームマンションの 乱開発に疑問

大島3丁目在住のOさんから、
「近所にワンルームマンションが次々
できていくが、市はどんな対策をし
ているの？」との質問を受け、片柳
市議は共産党が行った質問書と答弁
書をお届けしました。

質問では、東京都豊島区が「2人
以上の世帯が暮らす住宅の供給を」
と「狭小住戸集合住宅税」を制定、
渋谷区が「ファミリー向け住戸の設
置」「50戸以上のワンルームは、
週5日以上かつ日中8時間以上の管
理人駐在」などを求める条例に改正
していることを紹介しています。

その上で、川崎市も同様に「ファ
ミリータイプの建設」「長く住み続
けられるような住宅の確保」などの
規制をすることを求めて質問。
三浦副市長は「比較的短期間で入
居者が入れかわり、地域コミュニティ
の希薄化などが懸念されており、要
綱の改正を検討中」と答えています。
Oさんは「質問したらすぐに答え
てくれて良かった。よくわかりまし
た」と笑顔で話していました。

「戦争法」施行で地方自治体は？

― 共産党市議団学習会 ―

6月2日、共産党市議団は渡辺
治一橋大名誉教授を講師に「憲法違
反の『戦争法』施行と地方自治体」
と題する学習会を開催。渡辺氏は、

川崎病院、全面禁煙に

「川崎市立川崎病院」は
7月1日から敷地内全面禁
煙となります。病院周辺の
吸殻入れは撤去するとのこ
とです。周
辺の路上喫
煙が増えな
いよう対策
が必要です。



「声を聞く」初心を忘れない

市議会議員となり、1年が過
ぎ、振り返ると地域の皆さんの声
の大切さを痛感します。公園で
聞いた子育て世代のみなさんの
願い、地域や団体のみなさんの
声、議会での発言の一つひとつ
が「声」を背負っているという
責任の重さを感じた一年でした。
生活保護を受けている知的障
害のある高齢の男性から「いま
住んでいると
ころは環境も
人間関係も悪
く、つらい毎
日…。もう長
くないから故
郷の宮崎に帰
って死にたいよ
」と涙ながらに
相談を受けた
こともありま
した。「どう
力になろうか」
と悩みながら
も、役所の担



No.12 片柳 すすむ 日進月歩

当者に状況を伝え、宮崎の議員
とも連携した結果、男性は故郷
でご家族と暮らせることになり
ました。市民の一つひとつの声
やつぶやきにこたえて活動する初
心を忘れないよう日々心がけた
と思います。
市議二年目の今年は、もう少し
余裕を持って動けるよう、さ
らに勉強を重ねてまいります。

